

第4回 町田市立町田第一中学校改築計画基本設計検討委員会・会議録

日 時 2016年9月12日(月) 14:30～16:30

場 所 市庁舎2階 第2会議室

出席者

(委員)

野澤中町三丁目町内会相談役、澤田森野中央町内会長、中旭町二丁目町内会長、
新井中町中央町内会長、内山PTA副会長、花田町田第一中学校長、
吉川学校教育部長

(関係職員)

市川教育総務課長、岸波施設課長、田中学務課長、佐藤保健給食課長、宮田指導室長、
熊木指導課統括指導主事、勝又教育センター所長、細川施設課担当課長、
菅野施設課主任、小坂営繕課学校施設係長

(設計会社)

綜企画設計 佐野(管理)、植村(技術/意匠)、関(技術/意匠)

(事務局・教育総務課)

小宮担当課長、徳浪係長、新井担当係長、松村担当係長、村井主任、大高主任

欠席者

(委員)

越水本町田町内会長、森貞PTA副会長

傍聴人数 0名

<資料>

- ・第3回「町田市立町田第一中学校改築計画基本設計検討委員会」会議録(案)【資料1】
- ・設計会社作成資料【資料2】
- ・町田市立町田第一中学校改築工事 設計指針【資料3】

会議概要

1 第3回会議録の確認

事前に配付した【資料1】について、委員からの意見は無く確定とした。

2 町田第一中学校の改築計画について

(1) 第3回検討委員会での意見・要望に対する検討結果の報告(綜企画設計)

【資料2】に基づき説明あり。

- ・項目は、①テニスコート(テニスコート設置の提示・検討)、②特別支援(特別支援の避難方法及び位置の提示・検討)、③④計画経緯(前回検討委員会からの計画経緯の説明)、⑤⑥計画提示(交流テラス案と中庭案の計画提示)、⑦イメージ図(交流テラス案と中庭案のイメージ図)、である。

- ・今回の検討委員会では、テニスコートの屋上設置は行わない方針で良いか、特別支援を1階・2階のどちらに配置するか、校舎と校庭の配置を見直す、交流テラス案と中庭案のどちらが良いか考える、についての検討をお願いしたい。

(2) 検討委員からの質問及び意見交換

- (委員) 学校規模を考えるとテニスコートは2面必要だが、屋上に2面設置することは難しいとの回答であった。屋上に1面、中庭に1面という形は、運用上難しいと考えるので、校庭に2面設置することが望ましい。校庭の面積については、体育大会等の行事を考えると、校舎：校庭=6：4では狭いと思う。また、特別支援教室は、避難経路を考えると1階に配置するのは致し方ないと思う。各階に特別支援を含めた4つの集団が入るという形で良いと考える。
- (委員) 特別支援教室の各諸室の配置だが、中庭に面するように配置すると日当たりが良くなると思うが、可能なのか。
- (設計会社) 可能である。今後学校とも協議していく中で、どの教室を環境が良い場所に配置するのか検討していく予定である。今回の提示はあくまでも例である。
- (委員) 特別支援学級の保護者からは、校内での交流より避難を優先させて欲しいとの意見である。現在の別棟にある状態から考えると、同じ校舎内で学ぶことになるので、交流については問題ないと思う。
- (委員) 屋上にテニスコートを設置することは良い案だと思うが、維持管理のコストや学校の運営面の負担を考えると難しいと思う。また、避難だけでなく、外部からの侵入に対する対策も考慮する必要がある。
- (委員) 特別支援学級との交流に、中庭も活用できるのではないか。
- (委員) テラスについて、検討委員会での意見を取り入れて、かなり工夫された提案がなされているので、使用用途やイメージが分かり易くなった。
- (委員) 今回提示されたC-1・2案(校庭：校舎=5.5：4.5)の配置ならば、従来の形の体育大会は可能と思われる。
- (委員) 校舎の位置は、道路からどの位の距離なのか。校舎を道路に近づければ、校庭を広くできるのではないか。
- (関係職員) 日影規制による近隣への配慮、都の条例により緑地を確保していること、により現在の位置よりさらに距離は広がっている。屋上を緑化することで、敷地内の緑化部分を緩和できないかということについては、今後検討していく。
- (委員) 議論も進んだので、ここで懸案事項について検討委員会としての意見を決めていきたいと思う。災害時の避難を優先して考えると、特別支援教室は1階に配置する案が良いと考えるがどうか。
- (委員) 良い。
- (委員) 次にテニスコートの設置について、校庭に2面設置する案で良いと考えるがどうか。

- (委員) 校庭に設置することが難しいとのことなので、他の場所に設置する案を検討してきた。校庭に設置することが可能であるのならば、校庭が良い。
- (委員) 最後に、交流テラス案と中庭案について、どちらの案を推薦するか決めていきたいので、意見をいただきたい。
- (委員) 「特色」とはどういったことを指すのか。ソフト面なのか、ハード面なのか。
- (設計会社) 両方になる。ソフト面は、各自治体の教育方針により色々考えられる。ハード面では、従来のハーモニカ型校舎から、廊下を広くし生徒の交流スペースを設けることで、学ぶ場所を教室に限定しない等の特色を出す学校が近年増えてきている。その中で、今回は交流テラスや地域開放、また外観も単なる壁面ではなくポイントとなる場所を作ることを、特色として出している。
- (委員) 交流テラス案は、降雪時が心配である。
- (設計会社) 階段の上に庇を付けることで、積もりにくくする事を考えている。また、南側に面しているので、雪解けは良いと考えている。
- (関係職員) 以前から検討委員会で懸念されていることを踏まえ、テラス部分にも庇を付けることを考えており、今後詳細について検討していく。
- (委員) 雪は年に数回のことなので、考慮しなくて良いのではないか。
- (委員) 交流テラス案では、中庭への部外者の侵入が心配である。
- (関係職員) 校庭から中庭への開放感を意識しての提案だが、ガラスやシャッター等で仕切るとは可能であるので、学校の意見に沿って今後検討していく。
- (設計会社) 地域開放を考えると、入りやすさも重要な点になる。セキュリティとの兼ね合いもあるが、閉鎖的な施設になりすぎてしまうのも困ると考える。
- (委員) 交流テラス案と中庭案について、どちらの案を推薦するかは今回の検討委員会で決めないといけないのか。
- (関係職員) 第5回検討委員会では、今回決まった案をもとに、設計会社からさらに詳細部分の提案受け、検討していくことになるので、今回決めていただきたい。
- (委員) 交流テラス案と中庭案では、予算的に差があるのか。
- (設計会社) 大差はない。
- (委員) 今後50年間使用していくことを考えると、「町一中らしい特徴」が欲しいと考えるが、それが交流テラス案ということになると思う。
- (委員) 交流テラス案の開放感も良いが、学校としての使い勝手も大切である。
- (委員) 地域代表の立場からすると、地域交流や避難施設としての機能を求めるが、学校の考えを重視すべきであると考えます。
- (委員) 校長として、今後50年間使うことを考えると、斬新な校舎より無難な校舎ということになるので、中庭案となる。
- (委員) テラスの手すりの高さは、どの位なのか。
- (設計会社) 法律としては1.1mで十分なのだが、学校ということを考えて1.3mを想定している。
- (委員) 交流テラス案は、斬新であり、「新しい町一中」のシンボルになると思えるが、降雪や手すりの高さ等のリスク面で不安との意見が出ている。一方で、中庭案に対して特に意見が出ていないということは、無難な案ではあるが手堅い案であるとも言える。また、地域開放諸室が2階にまとまっていることも運用上便利であると思うので、中庭案が良いと考える。

- (委員) 保護者としては、義務教育である中学校の校舎には、斬新さよりも安全性を求めるので、中庭案が良いと考える。
- (委員) 日々使用している学校の意見を重視すべきだと思う。
- (委員) 交流テラス案の、大会議室とテラスの間仕切りはどのような物なのか。
- (設計会社) 空間を一体的に使用できるよう、スライディングウォールを使用する想定である。
- (委員) 広いスペースができることは魅力的ではあるが、耐久性はどうか。
- (設計会社) 通常の使用であれば問題ない。
- (委員) 特別支援教室のトイレにエアコンは設置されるのか。
- (関係職員) 他校でも設置している例はあるので、可能であると思われる。
- (関係職員) 特別支援教室は1階に配置する、テニスコートは校庭に配置する、普通教室を2～4階に配置し学年で階を分ける、ということを今回の検討委員会での決定事項とし、その他の詳細な配置等については設計会社に一任していただけるのであれば、交流テラス案と中庭案の選択は第5回検討委員会でも構わない。
- (委員) 第5回検討委員会で、どちらの案を推薦するか決めることとする。

(3) その他

- ・町田市立町田第一中学校改築工事 設計指針【資料3】について、第2回検討委員会で承認されたが、教育長の決裁が完了し正式に決定されたことを報告した。

3 次回のスケジュール

第5回 9月27日(火) 14:30～ 市庁舎 10階 第3・4・5会議室